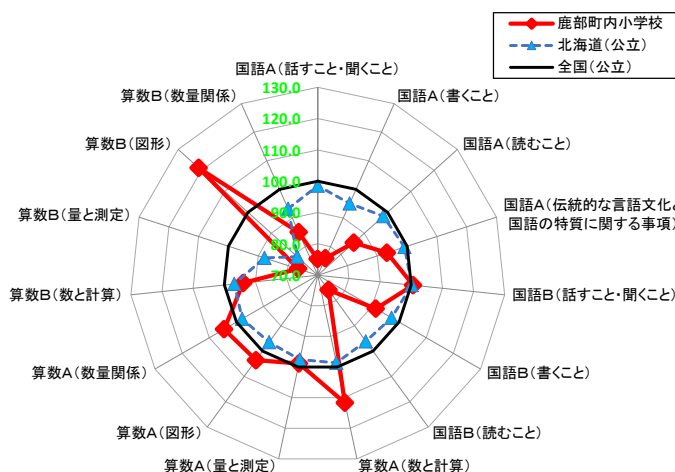


■鹿部町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:25人)

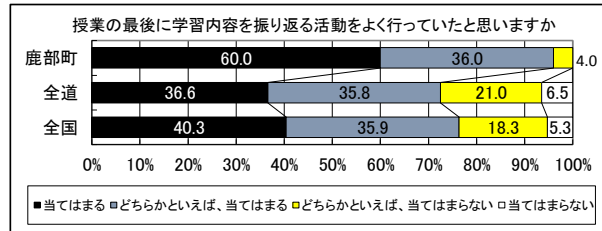
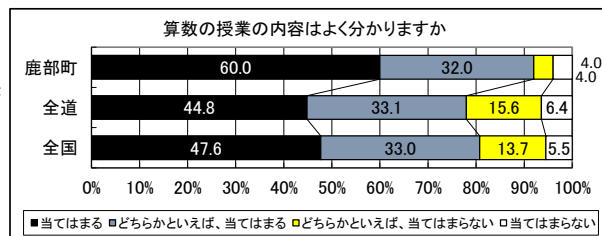
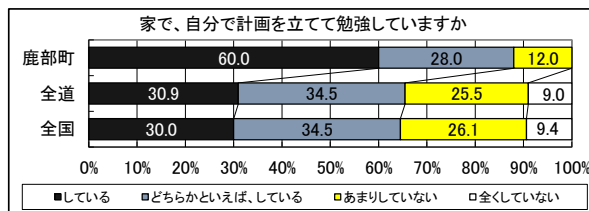
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

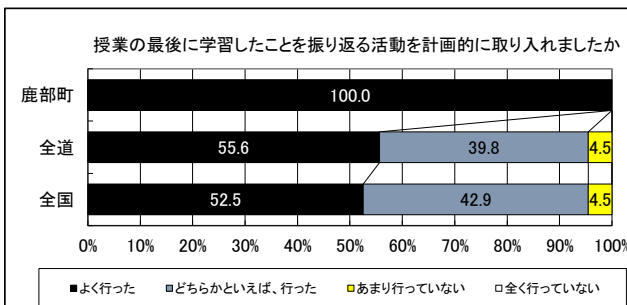
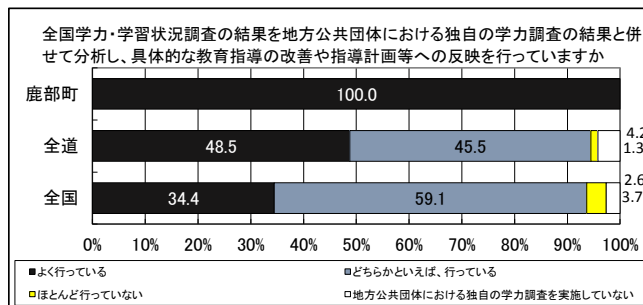
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aにおいて、全国の平均正答率を上回っている。 ○ 国語Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」「図形」「数量関係」で全国を上回り、「量と測定」で全道を上回っている。 ○ 算数Bでは、「図形」で全国を上回っている。	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れるなどの指導方法の工夫・改善に取り組んだ結果、基礎的・基本的な学習内容の定着に結び付いたと考えられる。 ○ 全国学力・学習状況調査等の調査結果を分析し、教育指導や指導計画の改善を行った結果、「できる・分かる」を実感できる授業改善が進められ、学力向上に結び付いたと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、自分で計画を立てて勉強している」「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭学習の課題の与え方を工夫した結果、家で、自分で計画を立てて勉強している児童が増加し、家庭学習習慣の定着につながったと考えられる。
学校質問紙	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。	

【鹿部町の学力向上策】

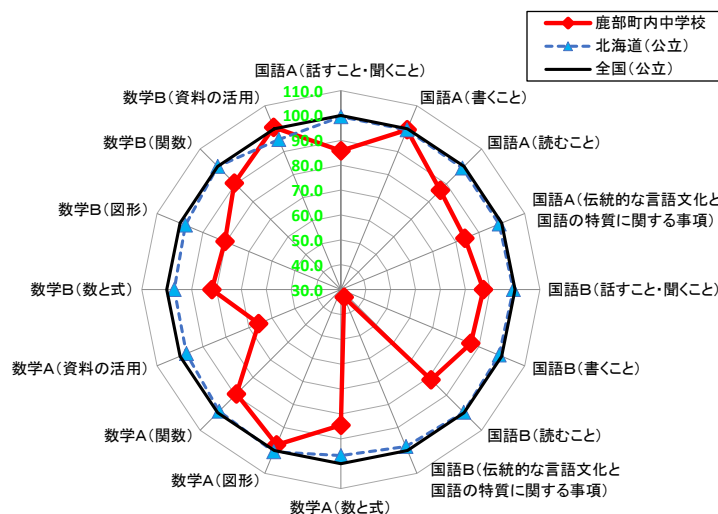
- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった基礎学力の定着に向けた習熟度別少人数指導、補充的な学習サポートの実施
- ◎ タブレットPCや電子黒板などのICT機器を活用した教育環境の整備
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備

■鹿部町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:29人)

【教科全体の状況】

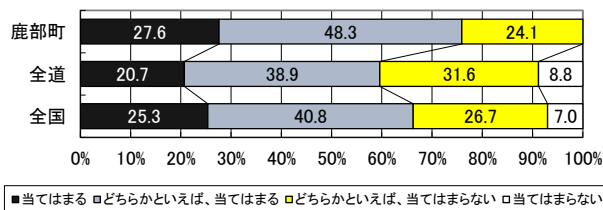
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

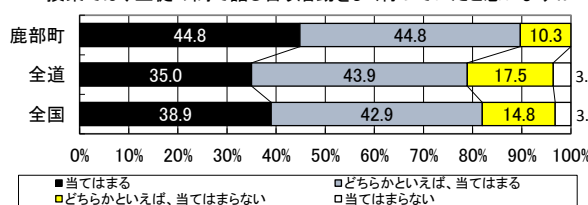


【生徒質問紙調査】

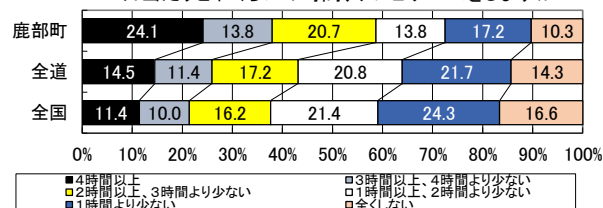
授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか



授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか

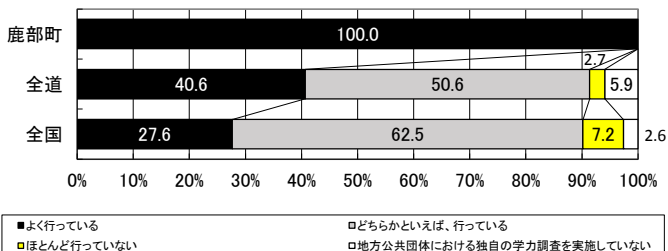


1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか

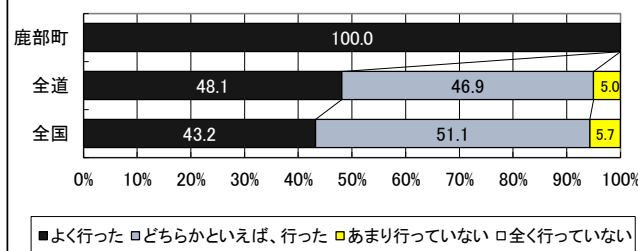


【学校質問紙調査】

全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「書くこと」で全道と同じである。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全国を上回っている。	○ 全国学力・学習状況調査等の調査結果を分析し、指導計画や指導方法の改善を行った結果、「できる・分かる」を実感できる授業改善が進められ、学力向上に結び付いたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた」「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 授業の中で、生徒の間で話し合う活動をよく行った結果、互いの考えを積極的に交流する場面が増え、学習意欲の向上に結び付いたと考えられる。
学校質問紙	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れている。	○ 1日当たり2時間以上テレビゲームをする生徒の割合が、全国及び全道を上回っていることから、望ましい生活習慣の確立に向けた取組を見直す必要がある。

【鹿部町の学力向上策】

- ◎ 校内組織である学力向上委員会が中心となった基礎学力の定着に向けた習熟度別少人数指導、補充的な学習サポートの実施
- ◎ タブレットPCや電子黒板などのICT機器を活用した教育環境の整備
- ◎ コミュニティ・スクールの取組による地域全体で子どもたちを育てていく体制の整備